

保健師職能委員会

委員長：中 由美

1. 活動方針及び活動目標

1) 職能委員会活動による看護業務改善等に係る取り組み ①看護職間の連携強化に関する情報収集・課題集約 ・各職能委員会等との連携強化 ②保健師のネットワーク及び組織強化に関する課題発見意見集約

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
定例委員会 【マルイトOBPビル】	1) 保健師活動指針の改定に向けた意見集約 2) 保健師の人材確保・育成について課題把握 ・自治体保健師人材確保のための魅力・情報発信事業 相談コーナー担当 ・自治体における人材確保・育成についての現状把握 3) 流産・死産されたお母さんに対する支援に係る情報提供票活用の評価	全 9 回	委員12名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
人材確保・育成イベント 【マルイトOBPビル】	大阪府看護協会開催「自治体保健師人材確保のための魅力・情報発信事業」における「相談コーナー」担当	1月27日	69名
保健師・助産師職能 合同会議 【マルイトOBPビル】	議題「流産・死産されたお母さんに対する支援：地域との連携システム・支援者情報提供票について」	2月2日	助産師職能委員 10名 保健師職能委員 6名
【活動の概要】 1) 看護職間の連携強化： 保健師・助産師職能で検討してきた「流産・死産されたお母さんに対する支援：地域との連携システム・支援者情報提供票」を試行した。3件のケースがあり評価した結果、情報提供票の内容や病院地域間連携には特に問題がなく、このまま継続することになった。 2) 保健師のネットワーク： ・今年度は人材確保、育成について各現場の状況を把握し課題を集約した。 ・委員会では、新任期保健師の特性、コロナ体制の影響も関係して育成が順調に進まない、中堅期保健師の課題、早期退職等の状況があることが話し合われた。 ・「自治体保健師人材確保のための魅力・情報発信事業」イベントでは学生の参加が多く、学生が仕事や就職についてどのような疑問や悩みを持っているか知ることができた。例えば「保健師			

の仕事がわからない」「看護師を経験してから保健師になった方がいいのか」「病院の採用試験時期が早く保健師実習や採用試験の時には採用が決まっている」等の声が聞かれた。

また、府・政令中核市・市町村保健師で人材育成について意見交換を行い、どこも人材育成に課題があることがわかった。特に小規模自治体では人材確保、人材育成ともに難しい状況である。

4. 課題・その他

- 1) 地域における看護職間の連携強化に関する情報収集・課題集約
 - ・助産師職能委員会との連携（特定妊婦、流産・死産されたお母さんに対する支援）
 - ・産業保健師の実態把握と連携
- 2) 各地域の状況に応じた保健師の人材育成・確保に関する課題集約・支援